

# 富山県人

2024

令和6年 4月号



「出町曳山」

岡本 明久

砺波の出町神明宮の春季祭礼では毎年、子供歌舞伎の曳山が町を廻ります。昨年の当番町は私が育った中町であると同じ取材致しました。大人顔負けの演技を稽古してきた子どもたちの中には竹馬の友のお孫さんもいて、懐かしさに包まれながら感動し、制作致しました。

## 富山

### スタジアム構想に理解を サッカー宮本会長招き意見交換



任)を招き、県民から意見を聞くタウン

スタジアム建設構想を掲げる県サッカー協会が3月16日、日本サッカー協会の宮本恒靖専務理事(同23日会長就

ミーティング「夢のスタジアムへキックオフ」を県民会館で開いた。約130人が参加した。スタジアム建設による地域

### 黒部(宇奈月) 温泉水ウナギ商品化へ

ウナギの特産化を目指す黒部Uプロジェクト協議会(吉田忠裕会長)は、今年から「温泉水ウナギ」を商品化して地元の旅館・ホテルで提供を始める。

同協議会では2021年から市内の河川にウナギの稚魚を放流しているほか、宇奈月の温泉水で飼育した「温泉水ウナギ」の研究を県水産研究所などで行ってきた。冷ました温泉水で1週間ほど飼育す



活性化効果と課題を知ってもらい、プロジェクトに対する賛同を広げる狙いで開いた。中京大の舟橋弘晃准教授が「スタジアム整備の潮流と効果」と題して基調講演し、「サッカーの試合がない日も利用できる機能を持たせるため、地域のニーズの中で考えるべきだ」と話した。その後、宮本専務理事を交えて意見交換を実施。参加者からは早期の実現を望む声が多く寄せられ、立地や財源、合意

を真空パックで出荷する。温泉水ウナギを使ったレシピも提案し、宇奈月の新たな名物としてPRしていく。

ると、養殖ウナギがやわらかくおいしくなる効果が確認されたとし、商品化に踏み出す。関係者約50人を集めた食味試験が2月26日、ホテル「フ

イール宇奈月」であり、温泉水、地下水、ユズ入り温泉水、ユズ入り地下水でそれぞれ1週間飼育した養殖ウナギの白焼きを食べ比べた。脂の乗り

で温泉水ウナギを支持する声が開かれ、中でもユズ入り温泉水ウナギは評価が高かった。県鮭鱒漁業協同組合(魚津市)が協力し、調理した商品

### 立山 東谷の魅力発信に着手

農林水産省が設立を推進する農村RMO(地域運営組織)のモデル地区になった東谷地区の東谷活性化協議会は、地区の魅力発信するホームページ(HP)やインスタグラムを新たに開設した。

HP「東谷に來られ!」では岩室の滝や白岩川ダム、伊

形成のプロセスなどについての質問があった。宮本専務理事は「多くの人が楽しめてにぎわう場所になればよい」と構想への期待感を語った。

日本サッカー協会は、スタジアム建設に詳しいシンクタンクの日本総研と提携しており、知見の提供で県サッカー協を支援する。宮本専務理事は同15日に新田八朗知事と藤井裕久富山市長と面会してプロジェクトに対する理解と協力を要請した。

勢屋の大杉、昆虫大国立山・立山自然ふれあい館といった周辺のスポット、産業としてのユズや洋ナシ栽培などを紹介。移住してきた人へのインタビュも掲載した。インスタグラムでは豊かな自然や四季の景色などの写真を随時投稿する。

同協議会に参加している旧谷口小学校を活用したIT交流施設「谷口集学校」を運営する(一社)おかえり集学校の職員がHPを制作した。農村RMOは、中山間地な

どの集落や団体が連携して農業用地の保全と地域資源を生かした経済活性化、暮らしの支援を行うための組織。2023年度は東谷のほか、氷見市速川、南砺市大鋸屋、富山市黒瀬谷がモデル地区に採択された。

東谷では今年、クラフトビールの商品化を目指したホップ栽培などに取り組む。

### 富山(大山) 「白樺の湯」改修費募る

小見地区の住民が運営する「白樺の湯」(亀谷)が改修費に充てる寄付金を募っている。

長年親しまれてきた亀谷温泉を守るため、2020年に閉館した国民宿舎「白樺ハイツ」の入浴施設を引き継ぎ翌年から営業。地元住民だけでなく登山やスキー帰りの人たちがよく利用する。老朽化が進んでいるため、22年に寄付を募ったところ115万円が集まって湯船やサウナを改修。今回は、ろ過機用のポンプの修理が必要になったため、80万円を目標にしてカンパを呼び掛けている。

## 「かみのわ」に名称変更

### 上市町首都圏同窓会

首都圏在住の上市町出身者のコミュニティ「上市町首都圏同窓会」は、つなりの輪を全国、世界へ広げていこうと、会名を「かみのわ」に変更した。

同会は上市中学2003年卒業同級の早川恭平代表と坂口祐介運営メンバーが、町出身者同士や町との交流の場をつくろうと、町の支援を得ながら19年に立ち上げた。都内での交流会開催や、コロナ期にはオンライン帰省、町民も巻き込んで町への想いを発表する展示会などを開いてきた。どこに住んでいても「出身が上市町」である人

## 同窓会

### 魚高魂に溢れた総会5年ぶり

#### 東京魚高会

東京魚高会（魚津高校同窓会東京支部）の第20回総会・懇親会を盛大に開催できました。

2月10日、JR四ツ谷駅前の主婦会館で、コロナ禍を経て5年ぶりの開催となり、周知と参加について若干の不安があったが、「楽しくなければ同窓会じゃない！」を合言葉に、幹事一同、創意工夫を凝らして仕込んだ結果、117名の大盛況であった。

具体的には、形式的な議事や挨拶は

がつながれるよう会名を改め、公式サイトも開設した。

### 南砺市出身の35歳以下を集め

#### 南砺でつながるU35交流会

南砺市との縁で首都圏の若者（35歳以下）の交流を促す「南砺でつながるU35交流会」が2月23日、大手町の「3×3ラボフューチャー」で開かれた。市がUJターンの促進や市出身者若者同士の交流を深めるため初開催した。

出身者ら33人と、市内の9社が参加。田中幹夫市長が「南砺市の魅力を再確認してほしい」と挨拶し、市商工会青年部の嶋田充宏さんや、市へ移住した遠藤あずささんが活動を紹介した。



必要最小限に止めた。講演は分かりやすく、共感が得られるものとして、小路美喜子さん（昭和41年卒、元東京慈恵医科大学付属病院・看護部長、副院長）に

「活気ある人生のためのちよっとしたコツ」と題して「フィッシュ哲学」をお話いただいた。感銘の講演であった。

また、懇親食事会の間には、浜田

亜東実さん（S53卒）にギター伴奏つきでジャズライブをしていただき、これもアンコールが飛び交っていた。同窓会定番ですが、元応援部の名古屋菊夫副会長（S45卒）の振りにより、参加者全員大声で3番までの校歌斉唱と、これに続く名門富山県立魚津高等学校のエール、これがやりたくてという会員諸兄も多数おられて大いに盛り上がった。

来賓として、亀谷卓朗学校長、村椿晃魚津市長、上田英俊代議士（S58卒）、澤崎豊稟議（S56卒）、石田紀夫東京魚津会会長（S34卒）、大田弘同窓会本部長（S46卒）に列席いただいた。最後に上野唯泰副会長（S46卒）から挨拶があり、お開きとなった。

後日談があり、何と新制魚津高校2期生・木田百合子さん（S29卒）から升方充会長（S45卒）宛てに丁寧な5ページにおよぶ長文の手紙があり、「高齢につき、ためらいながらの出席でしたが、とても素晴らしい魚高魂に溢れた同窓会でした。参加して良かったと感謝しております。これには幹事一同、苦勞の甲斐があったと喜びもひとしおでした。ちなみに、この大先輩は、次女の佐野恵美さん（S63卒）に手をひかれてのご出席でありました。

（名古屋菊夫副会長記）

## 大阪奈良魚高会

魚津高校同窓会の大阪奈良支部は昨年11月19日、ホテル京阪京橋グラウンデで4年ぶりに総会を開催し、12人が出席した。安否確認を兼ねて案内を発送し、4人の逝去が判明した。

再開にあたっては、役員会で新体制を整え、総会で諸議案が承認された。  
【役員】（○は新任）▽会長〓〓谷川拓至（9回）▽副会長〓〓長井利夫（7回）、竹内奉正（15回）、〓〓谷口佳紀夫（15回）▽顧問〓〓仲俣睦喜男（6回）▽会計〓〓金川泰典（12回）▽監事〓〓荒井光代（19回）▽幹事長〓〓稲崎登（21回）（事務局局長兼務）

### 日本代表のイラン失点を惜しむ

#### 富山大サッカー部関東支部

富山大学サッカー部OB会関東支部の新年会が2月17日17時より、台東区の吉池食堂本店にて開催された。この



新年会はコロナ禍で休止されていたが、昨年より再開された。松澤哲夫会長（1974年卒）が開会挨拶で

「能登半島地震で亡くなった方々に哀悼の意を表す。富山県も含めて早急な復旧を願う」と話し、懇親会が始まった。ピー

ルでの乾杯でスタートしたものの、平均年齢も高く?、ほどなく日本酒に切り替わり、それは最後まで続いた。

2月3日のサッカーアジア大会準々決勝で、サムライブルー(日本代表)

がイランに1対2で惜敗したため、参加メンバーは残念があった。優勝候補と言われているだけに、「イラン戦で、い

らん失点をした。アジアトップ級の日本は研究されている」と。ただし、美味

しい日本酒が決してヤケ酒となったわけではない。今回の新年会は案内展

開が遅れたこともあり、8名(青塚悌郎、野村邦雄、吉國睦治、江藤隆典、

松澤哲夫、山川博久、飯塚修、前田昭夫)の参加にとどまった。

なお、関東支部総会は4月6日11時半よりアサヒビル本社ビル・レストランで開催と決定した。(飯塚修氏報)

室井館長も早大時代振り返る  
富山県東京六大学の集い

第36回富山県東京六大学の集いは3月2日、富山市のANAクラウンプラザホテルで24人が参加して開かれた。

幹事校の早稲田大学校友会の高木繁雄県支部長が「六大学のOBが集まる

会は全国的にも少ない。最初は東大のテーブルを作るのに苦労したと聞い

ている。今や、富山県から六大学に在籍している学生数は東大が一番多い。交流してウエルビーイングを高めよう」と

挨拶。前年幹事校の東京大学富山淡青

会の武内繁和会長が乾杯の音頭をとって開宴となった。

大学の垣根を越えて歓談の輪が広がる中、早大校友会の室井滋高志の国文学館長と嶋川武秀県議(母心・おかん)

がトークで盛り上げ、坂本真也さんがバスケットボールを回すパフォーマンスを披露した。室井さんは「大学近く

のニッポーへは今も毎月行ってレコーディングやCDを買う。アルバイトは100以上



してきた」などと語った。各校ごとに代表が一言挨拶をして校歌・応援歌を斉唱。東大の横田美香副

知事は「県外からの移住者もこうして交流ができる。富山人の世界大会を

することになった。バスポート取得費用の助成もしている。広く交流を」と

呼びかけ、高木早稲田支部長は大隈講堂建設に洪沢栄一氏を会長に寄付を集

めたことに触れ「今年、紙幣が慶應から早稲田に移る」と紹介した。次年度

幹事校の松井幹夫法政大富山校友会長が「来年はスクールカラー・オレンジ

の情熱色で実りある親睦交流の場となるようにしたい」と挨拶し、盛会裡のうちにお開きとなった。

# おくやみ

朝倉 晃氏(朝倉診療所所長、

富山市岩瀬出身) 昨年10月5日

死去、88歳。自宅は奈良市あや

め池南。富山北部高、大阪医科

大を修了し、大阪医大、生駒

総合病院内科医長を経て、19

78年開業した。生駒地区医師

泉区北中山。喪主は妻雅代さん。

富山市(1月) 舟崎勇吉氏

(83、元県クリーニング生活衛生

同業組合理事長、東田地方町) 28

日 (2月) 堀沢伸一氏(90、元

芝園中学校長、磯部町) 4日 水

落茂氏(73、ブレインメーカー

社長、豊田本町) 23日 篁恵子

さん(83、富山市桜谷福祉会理

氏(86、元四宮地所社長、松若

町) 9日

高岡市(1月) 中村巖氏(90、

元博労小学校長、鐘紡町) 24日

(2月) 堀田光子さん(108、元伏

木保育園理事長、伏木東一宮)

20日 島玲子さん(88、三共空

調サービス社長克秀氏の母、能

町) 22日 (3月) 石川穂子さ

さん(89、氷見市議萩野清隆氏

の母、港町) 新湊) 11日

魚津市(2月) 杉野芳宏氏

(97、元スギノマシン会長、元経

営者協会副会長、友道) 29日

氷見市(2月) 月光多恵子さ

ん(83、前開行寺坊守、早借)

18日 (3月) 南市牧氏(76、氷

海山光源寺住職、南大町) 14日

南砺市(2月) 林五郎吉氏

(95、サンミルク社長義和氏の

父、岩木) 福光) 19日 有川成

正氏(82、前砺波工業会長、前

砺波市建設業協会会長、福野)

21日 嶋田寛子さん(97、嶋田

鉄工社長稔氏の母、松原) 福野)

28日

中新川郡(2月) 岩崎堂光氏

氏(94、前智月寺住職、立山町五

百石) 17日 (3月) 菅原久信

氏(90、菅原建設会長、立山町

金剛寺) 3日